リフォーム情報

TOTOシンラ ファーストクラスの浴槽

これまでの浴槽はホーローで浴室の壁はこだわりの石壁、モダンな石壁はお客様のお気に入りでしたが素材が石なので浴室が冷えるとの事でTOTOのシンラにリフォームされました。

シンラはファーストクラス浴槽と呼ばれ、高級人口大理石 、肩楽湯（肩の後ろから幅広く大量のお湯が流れる）・腰楽湯（腰を中心に、身体の広範囲に刺激のある水流）、調光調色システム、床ワイパー洗浄（きれい除菌水）、ほっからり床を装備。また、窓も高性能ハイブリットに取換えて、断熱性を高めました。

ご家庭で毎日、ハイグレードなバスタイムをお楽しみ頂ける浴槽です。

～こんな時期だから換気の出来るドアを選ぶ～

人気！

YKKap かんたんドアリモ
玄関ドアD30　通風機能付

玄関から工コ・快適
安心・安全を備えた換気で空気をリフレッシュ

健康でエコロジーな暮らしを支える通風ドアをご紹介します。通風ドアはドアを閉めたまま、新鮮な空気を採り込めます。新型コロナウイルス対策予防に大切な換気が安心にできると今人気のドアです。通風部の網戸には、通風量2割UPの「クリアネット」を使用。糸を標準品の6割の細さにし、通風量が2割UPした網戸です。小さい虫もより入りにくく、お掃除もより手軽になっています。
種類も豊富です。

創業109年の信頼と実績　住宅・事務所ビル・アパート・マンションの塗装・防水・リフォーム
太田工業株式会社　☎ 0120-552-448

編集後記　すっかり春めいてきました。道端の草にも春を感じられます。

コロナ禍となってマスクを着用する事が習慣となりました。誰かとすれ違ってずいぶんたってから、あっあの人だ、ご挨拶すれば良かった、なんて事ありませんか？

ある日の新聞記事に、日本は欧米と比べてマスクの着用率がダントツに高いとありました。それは、言語の違いが大きく、日本語は微妙な発音でも意思を伝えるにはさほど問題がないそうです。平安時代の宮中貴族の女性は、扇で口元を隠す習慣がありました。そんな仕草からもマスク着用への抵抗感が薄らいでいるのかな、などと勝手な想像を巡らせています。最近のささやかな楽しみは、道行く人のマスクの品定め、ステキなマスク、何処で買ったのかしら？平安時代の女性たちも、人の扇の品定めをしていたのかも…　お

ひとに生まれて
人となれ
能満寺

チャオチャオ！わいわいクラブ　チャオチャオ！わいわいクラブ

地域情報紙・チャオわいわいクラブ!!　vol.175

太田工業株式会社
〒400-0824 甲府市蓬沢町1146　☎ 233-6588　fax 235-4809
https://www.ota-kogyo.com　発行人 太田丈三　編集人 落合洋子

玉諸小学校校庭拡張工事完成に寄せて

樋口雄一 甲府市長

玉諸地区の皆様におかれましては、日頃より、市政推進に対しまして、ご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、玉諸小学校の児童数は、近年の玉諸地区における宅地開発等に伴い増加しており、学校規模としては、山城小学校に次ぐ市内でも２番目に大きい学校となっております。

そのような中、児童数の増加に対応するため、平成27年には校舎を増築してまいりましたが、校庭の拡張につきましても、地域や学校関係の皆様から、これまで多くのご要望をいただいておりました。

こうした状況を踏まえ、平成30年度からの３か年計画で校庭拡張等整備事業を進め、地域や学校関係者の皆様のご協力をいただく中で、予定どおり３月末で完成する運びとなりました。

校庭の整備に際しましては、従来よりも排水性に優れ、飛散しにくい砂を使用しており、学校活動や周辺環境に配慮しております。

また、校庭の完成により、子どもたちの教育環境の向上はもとより、災害発生時の避難場所としての機能や、地域スポーツ活動の充実にも繋がるものと期待しております。

来年は、明治５年の創立以来、地域と共に歩みを進めてきた玉諸小学校も150周年の節目の年を迎えます。校庭の拡張を契機として、将来を担う子どもたちが、健やかで心豊かに育つことを願うとともに、地域に根ざした学校づくりを推進してまいりますので、今後とも玉諸小学校と児童たちに温かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、校庭の完成にあたってのご挨拶といたします。

【記者の一言】　今月号は玉諸小学校校庭拡張工事完成にあたり、樋口雄一甲府市長にご寄稿頂きました。お忙しい中、ありがとうございました。また、玉諸小学校岩下清彦校長先生、玉諸地区自治会連合会渡邉康雄会長、玉諸地区体育協会小泉博夫理事長の3人の方々からもご挨拶をよせて頂きました。地域の悲願でありました校庭拡張、ご尽力いただきました全ての方々に感謝したいですね。

〈ドローン空撮は国土交通省の許可の元、弊社ドローンパイロットが操縦しております〉

弊社は、1912年に太田塗装店として甲府市舞鶴城近くの桜町に誕生しました。昭和48年に現在の蓬沢町に移転し、以来この地にて建築仕上工事を行っています。「チャオチャオわいわいクラブ」は地域貢献として毎月1日、**五味新聞店様のご協力**により玉諸地区へ3000部、山梨日日新聞の折り込みでお届けしています。どうぞお楽しみください。

創業109年の信頼と実績　塗装・リフォーム　太田工業株式会社 ☎ 0120-552-448

玉諸小学校校庭拡張工事完成に寄せて

岩下清彦　校長

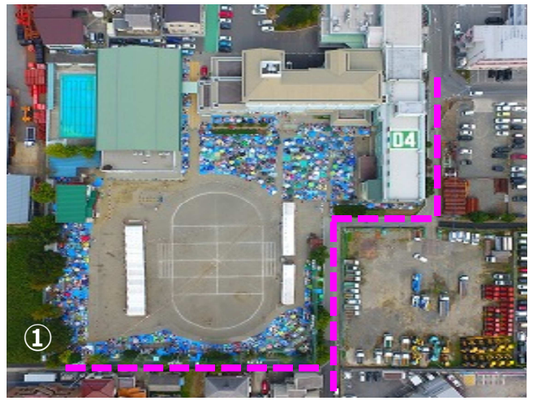
玉諸地区の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力をいただいておりますことに、感謝申し上げます。本校も新型コロナによる様々な影響を受けながらも、知恵を絞って工夫を凝らし、今年度ならではの教育活動を進めてきました。お陰様で子どもたちは毎日元気に明るく、学校生活を送っています。

さて、地域の皆様のご尽力をいただき進めてまいりました校庭拡張工事がこの３月に終了します。本当にありがとうございました。

本校の児童数は、平成９年度の418名から今年度は699名にまで増加しています。一方、校庭の面積は 8338㎡、児童一人あたり11.9㎡で、市内全小学校の平均30.8㎡の３分の１余りしかありません。休み時間には大勢の子どもたちが校庭いっぱいに走り回り、運動会では通路の確保も困難な混雑状況になります。

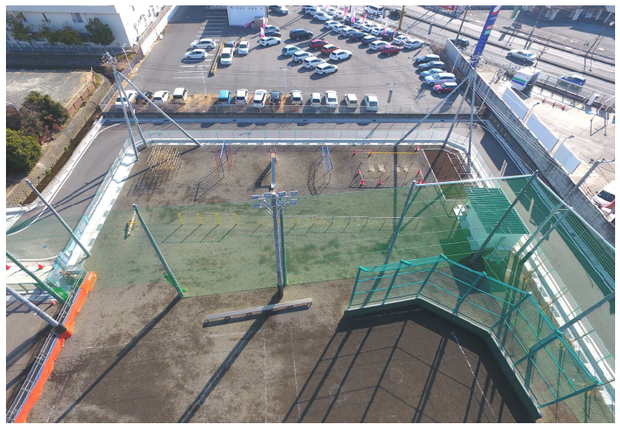
このような中、本校PTAの皆様、「甲府市立玉諸小学校校庭拡張を実現する会」をはじめとする地域の皆様の熱心な取組のおかげで校庭拡張が事業化されました。校庭の南東部に隣接する民有地 2909㎡を購入、整備して校庭と一体化し、面積は約1.3倍になります。水はけがよく、風で飛びにくい土に入れ替え、バックネットも新設されます。工事が完了し、子どもたちがのびのびと校庭を走り回る日ももうすぐです。地域の皆様にも、社会体育等でご利用いただければと思います。

最後に、私事ですが、今年度末をもって定年退職となります。この３年間を歴史と伝統ある玉諸小学校で勤務できたこと、玉諸小の明るく元気で素直な子どもたちと過ごせたことを、誇りに思うと同時に感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ禍ではあっても、何ごとにも前向きに取り組む子どもたち、子どもたちに優しく愛情を注いでくださっているご家庭、子どもたちを温かく見守り支えてくださっている地域の方々、玉諸地区は、本当にすばらしいところだと思います。結びに、皆様のご健勝とご多幸、玉諸地区のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。



Before ①②の写真は2017年運動会の様子
観覧席が混みあった海水浴場のようですね
（ー ー は道路 ）

After 道路が東側に付けかえられ校庭が拡張されました。
バックネット裏に遊具が設置されました。



玉諸小学校校庭拡張工事完成に寄せて

玉諸地区自治会連合会 渡邉康雄 会長談

近年、玉諸地区は、宅地化が進み人口の増加と共に玉諸小学校の児童数は市内第2位となっています。その為、校庭が手狭となり拡張工事は地区全体の悲願となっておりました。

毎年、玉諸地区自治会連合会は校庭拡張の要望を甲府市にお願いして参りましたが良い回答を得ることが出来ませんでした。そこで、平成27年11月19日「甲府市立玉諸小学校校庭拡張を実現する会」を設立し活動を開始しました。同年12月16日と、平成29年11月21日に甲府市立玉諸小学校校庭拡張を実現する会の全会員総意のもと、甲府市へ要望書を提出いたしました。以降、進捗状況を見守る中、甲府市立玉諸小学校校庭拡張を実現する会のみならず、玉諸小学校同窓会をはじめ、各種団体及び地域の皆様方、地区選出の天野市議会議員、深澤市議会議員の議会活動等の協力を得て、甲府市立玉諸小学校校庭拡張を実現する会の設立7年目にして、拡張工事完了の運びとなりました。

これからは、思いっきり校庭狭しと、走り回る児童の姿を見られる事でしょう。運動会等の学校行事も支障無く思い通りの実行が可能となることと思います。

結びに、この事業に関わつて頂いた、関係各位の皆様方に、心より玉諸小学校校庭拡張工事完成に対しましての感謝とお祝いを申し上げます。

玉諸地区体育協会　小泉博夫 理事長談

玉諸地区体育協会では甲府市教育委員会より地域スポーツ活動の推進として「玉諸小学校施設利用運営委員会」の運営を委託され、委員を選出し小学校の授業終了後の午後4時45分から午後9時までの間と授業及び行事が無い日を対象にグラウンドと体育館の使用予約をする調整会議を毎月25日に開催し翌月分の予約受付を行っています。主な内容としては各団体の使用日調整、使用許可申請書の発行、照明使用料会計、使用方法指導、関連書類の提出等を行い地域活動が推進できるように従事しています。

現在、体育館は使用できますがグラウンドに関しましては拡張工事の為、使用できませんが令和3年4月より約1.3倍の広さとなり土も排水性が良くクッション性があり砂ぼこりも緩和される「グランサンド（火山砂）」に変更され以前より良い状態で使用できる事となります。

昨年からはコロナ禍で利用制限、対応、提出物と使用条件が変動し利用団体さんにもご負担をおかけしています。

今後も施設使用上での変更が出てくると予想されますが、地域の皆様が安全に使用できるように使用ルールを守り施設保全等にご協力を宜しくお願い致します。

玉諸地区社会福祉協議会　福祉推進員

皆さん、ご存じですか？　～福祉推進員の活動～
玉諸地区福祉協議会の組織の中に福祉推進員27名がボランティア活動を行っています。
小林玉諸地区福祉推進員代表に日頃の活動について伺いました。

玉諸地区福祉推進員は、玉諸地区社会福祉協議会（以下地区社協）の運営委員として、地区の福祉活動を行うボランティアです。各町の自治会から推薦された方々で、任期２年、現在27名で活動しています。

主な活動としては、地区社協主催の「小地域ネットワーク会議」に参加して、自治会長・民生委員児童委員と連携し、地区内の一人暮らしの高齢者や、障害者で支援を必要としている方の発見や助け合いのネットワークを組み、訪問しての見守りや、声掛けで話し相手になったり、その人に合った具体的活動を行っています。

また、玉諸地区食生活改善推進員会と連携し、豊かな食生活や健康維持のためのアドバイスをパンフレットやチラシを作成し、要支援者に配布しながら、見守り・声掛け活動につなげています。そして、玉諸地区福祉推進員は配食ボランティアも兼務しています。一人暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯を対象に、希望する方々に安否確認を兼ねて夕食をお届けしています。配食希望の申込は甲府市社会福祉協会までご連絡下さい。1食400円です。お弁当を届けながら、ざっくばらんに話し相手となり、又相談相手にもなるよう努めています。

令和２年度は新型コロナウイルス感染防止対策で訪問活動は慎重を期し、電話での声掛けや、手紙・パンフレットなどの配布物に一言添えるなどの活動をしています。このように地道な活動ではありますが、玉諸地区の高齢者・障害者や子どもたちの普段の暮らしが幸せになりますよう願って活動しています。　**（玉諸地区福祉推進員　代表　小林達男 様　談）**